

ltjsarticle のフォント設定

2014 年 2 月 13 日

1 フォントの指定方法

フォントは「family」「series」「shape」の 3 つを組合せて指定する。書式は以下の通り

`{**family **series **shape テキスト}`

family 明朝/ゴシックの用にフォントの「体」に相当する。欧文フォントと和文フォントでそれぞれ個別に指定できるが、ltjsarticle の場合、欧文フォントを指定すると、それに追従して和文フォントも変更される。逆に、和文フォントを指定しただけでは欧文フォントは追従変更されず、デフォルト (Roman 体) のままとなる。

欧文フォント	
<code>\rmfamily</code>	Roman/明朝体
<code>\sffamily</code>	Sans-serif/ゴシック体
<code>\ttfamily</code>	Typewriter/ゴシック体
和文フォント	
<code>\mcfamily</code>	明朝体 (Roman)
<code>\gtfamily</code>	ゴシック体 (Roman)
<code>\mgtfamily</code>	丸文字ゴシック体 (Roman)
<code>\gtebfamily</code>	極太ゴシック体 (Roman)

series フォントの「太さ」を指定する。普通もしくは太字の 2 種類のみ。

shape フォントの「修飾」を指定する。和文フォントには影響しない。

<code>\mdseries</code>	標準の太さ (medium)
<code>\bfseries</code>	太字 (bold)

<code>\upshape</code>	直立体 (default)
<code>\itshape</code>	斜体 (<i>italic</i>)
<code>\slshape</code>	傾斜体 (<i>slant</i>). 直立体を傾けただけ
<code>\scshape</code>	スモールキャピタル体 (SMALL CAPITAL)

2 フォント設定の省略形

family, series, shape を設定するのは面倒なので、既に定義されているものを使ってみる.

```
{\rm テキスト}
{\bf テキスト}
{\sf テキスト}
{\tt テキスト}
{\it テキスト}
```

Roman/明朝 (`\rm`) 寿限無 寿限無 五劫の摺り切れ 海砂利水魚の 水行末 雲来末
風来末 食う寝る所に住む所, Supercalifragilisticexpialidocious!

Roman/明朝・太字 (`\bf`) 寿限無 寿限無 五劫の摺り切れ 海砂利水魚の 水行末
雲来末 風来末 食う寝る所に住む所, Supercalifragilisticexpialidocious!

Sans-serif/ゴシック (`\sf`) 寿限無 寿限無 五劫の摺り切れ 海砂利水魚の 水行末
雲来末 風来末 食う寝る所に住む所, Supercalifragilisticexpialidocious!

Typewriter/ゴシック (`\tt`) 寿限無 寿限無 五劫の摺り切れ 海砂利水魚の 水行末
雲来末 風来末 食う寝る所に住む所, Supercalifragilisticexpialidocious!

Roman/明朝・イタリック (`\it`) 寿限無 寿限無 五劫の摺り切れ 海砂利水魚の 水
行末 雲来末 風来末 食う寝る所に住む所, Supercalifragilisticexpialidocious!